

男性看護師が抱くモヤモヤの解消に向けたグループワークの効果

平田 研人¹⁾、前田 貴彦²⁾、辻本 雄大³⁾、上杉 佑也²⁾
藤本 泰博⁴⁾、五味 正治⁵⁾、福田 豊洋⁶⁾、伊藤 大輔⁷⁾

1)天理よろづ相談所病院、 2)三重県立看護大学、 3)奈良県立医科大学附属病院、 4)聖マリアンナ医科大学病院
5)紀北町役場、 6)伊勢赤十字病院、 7)三重県立総合医療センター

目的

男性看護師数は2014年、73,968名と年々増加し、様々な領域で活動している。しかし、我々がこれまでに男性看護師を対象に実施した交流会や勉強会、先行研究において「キャリア」「女性看護師との関わり」「ワークライフバランス」に関して、依然モヤモヤ（モヤモヤ：不安、困難、心配、悩みといった思いと定義する）を抱いている者も多い傾向が窺われた。そこで、これらに関するモヤモヤを解消するためにグループワークを実施したので、今回その効果について報告する。

実践内容

2016年X月、男性看護師を対象に「キャリア」「女性看護師との関わり」「ワークライフバランス」に関するモヤモヤやその解決策について、ワールドカフェ方式で150分間のグループワークを実施した。

ワールドカフェ

1グループ4~6名とし、全体を12グループで編成した。ファシリテーターは主催者側のメンバーが努め、決まったグループには入らず、適宜話し合いに参加した。1クールを20分とし、計4クール実施した。1クール終了毎に参加者は別のグループへ移動し、再度話し合いを行った。移動の際、全員がグループから離れると、今まで話し合われた内容が他の参加者に伝達・共有できなくなるため、グループに残る参加者を事前に一人決めた。1~3クール実施後、4クール目には最初のグループの席に戻り他のグループで話し合われた内容を共有しグループで模造紙にまとめた。まとめた内容について、司会に指名されたグループが簡潔に発表後、全体で質疑応答を行った。ワールドカフェでは、お菓子や飲み物を準備し、BGMを流すなど参加者が気兼ねなく会話できるような環境づくりに努めた。また、グループで書記を決めることで、その参加者は記録に集中し、話し合いに十分参加できなくなるため、書記は決めず全員が話し合いながら自己の発言を模造紙に記載する方式をとった。

評価方法

参加者に対し、ワールドカフェ前後で自記式質問紙調査を実施した。

質問項目

実施前：ワールドカフェに対する期待度（10段階評価）と自由記述で「モヤモヤを解消するために実施していることまたは実施したこと」

実施後：ワールドカフェに対する満足度（10段階評価）と自由記述で「モヤモヤしていることを解消するために明日からできることや実践しようと思うこと」

分析方法

期待度と満足度の関連は、1-10点とし対応のあるt検定を実施し、自由記述は内容の類似性から整理し、実施前後でその内容と記載人数について比較した。分析には統計解析ソフトSPSSver23を使用した。

倫理的配慮

参加者に対して、質問紙調査の目的、方法、自由参加について、文書及び口頭にて説明を行った。協力の同意については質問紙の提出を持って同意とみなした。なお、開催団体の倫理審査委員会の承認を得て実施した。

結果

参加者の属性

男性看護師の参加者数：53名
平均年齢：34.1歳
所在地：北海道、岩手、栃木、福井、
神奈川、静岡、石川、大阪、京都、岡山、
山口、佐賀、宮崎など22都道府県

期待度と満足度

期待度の平均値 6.6

満足度の平均値 8.8 p=0.000

満足度の方が有意に高かった。

参加者の感想（抜粋）

- 自分と同じような悩みを抱えている方々と意見交換でき、解決方法を見つけることができました。また、異なる経験年数や所属先の方々と様々な情報を得ることができて良かったです。
- とても有意義な時間で楽しかった。ストレスが吹っ飛びました。
- 本当に楽しかったです。久しぶりにこんなに笑いました。来年も参加したいと思います。

モヤモヤの主な解消策とワールドカフェ前後での人数の変化

モヤモヤを解消するための実施内容	実施前 人数	実施後 人数
様々なことに挑戦する	1	8
キャリアアップに向けて準備する	2	6
自己の目的や目標を明確にする	1	6
現状の中で前向きに頑張る	2	8
自己の考えを上司や周囲に伝える	2	4
自己研鑽に励む	3	2
女性看護師と連携する・より良い関係をつくる	1	2
男性看護師会を立ち上げる	1	2
夢の実現のために努力する	1	0
何もせず現状をひたすら過ごす	17	1
周囲の人に相談する	9	2
ワークライフバランスの充実を図る	2	1
情報収集する	3	0
女性看護師と距離をとる	1	0
気分転換を図る	3	3
ワールドカフェ後にあげられた解消策		
上司や女性看護師との関係を意識しすぎない	0	5
プライドをもって働く	0	4
様々な人と関わる	0	3
相手（女性看護師）の意見を受け止める	0	2
自己の意識を変える・自己を振り返る	0	2

まとめ

グループワーク前の期待度と比べ、実施後の満足度が有意に高く、肯定的な感想を得られたことから参加者にとって有意義なグループワークであったと評価することができる。そして、解消策については、実施後では、具体的な行動をとろうとする者や現状を前向きに捉え、主体的に行動しようとする者が増加しており、グループワークは、男性看護師の「キャリア」「女性看護師との関わり」「ワークライフバランス」に関するモヤモヤを解消する一助になったと考える。